



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

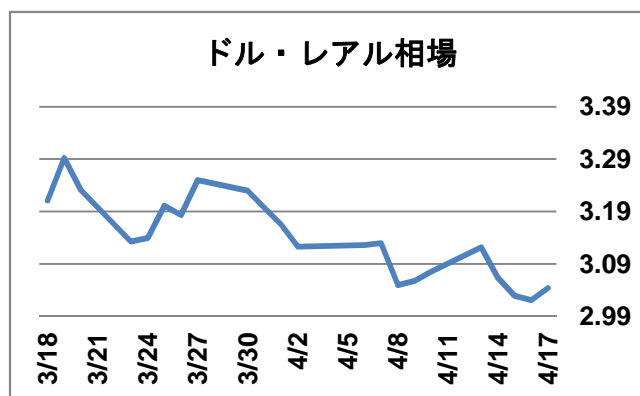
			4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1210	3.0630	3.0280	3.0200	3.0400	+0.0200
	BRL/JPY	Spot	38.48	38.97	39.33	39.41	39.11	-0.30
	EUR/USD	Spot	1.0571	1.0653	1.0684	1.0764	1.0806	+0.0042
	USD/JPY	Spot	120.13	119.39	119.14	119.04	118.90	-0.14
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.24	13.24	13.24	13.29	13.42	+0.1253
	Future	1Year(p.a.)	13.26	13.25	13.26	13.30	13.44	+0.1338
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.871	1.745	1.674	1.618	1.684	+0.066
	USD	1Year(p.a.)	2.614	2.478	2.376	2.303	2.421	+0.118
株式	Bovespa指数		54,239.77	53,981.92	54,918.74	54,674.21	53,954.79	-719.42
CDS	CDS Brazil 5y		249.31	236.50	233.00	237.67	242.80	+5.13
商品	CRB指数		216.825	219.037	223.580	225.722	223.944	-1.778

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は3.0760で寄り付いた。
- 週末に発表された中国の貿易収支が予想を大きく下回ったことから週初めはリスク資産の売りが見られ、レアルは3.10台まで急落した。更に流動性が低い中、米小売売上高への期待感からドル買いの動きが見られると、レアルはじりじりと週間安値となる3.1260まで下値を拡大した。
- 翌14日には米小売売上高が予想を大幅に下回ったため、米利上げ観測が後退しドルは対主要通貨で大幅下落。レアルは3.0570まで反発した。
- 週央にかけては3月の米鉱工業生産指数が予想以上に低下し、景気減速が示唆されたことからドルは続落、レアルは3.0270まで続伸した。
- 翌16日には米フィラデルフィア連銀景況指数が予想を上回った一方で、米住宅着工件数や失業保険申請件数が市場予想より弱い内容となったことを受け、ドルは対主要通貨で再び下落。レアルはつられて週間高値となる2.9990を付けた。レアルが3.0000を上回るのは3月6日以降、約6週間振りとなった。
- しかし週末にかけては3月の米CPIは燃料と食品を除くコア指数が3カ月連続で前月比0.2%上昇したことからドルは上昇、レアルは3.07台まで売り戻された。引けにかけてやや小緩み、結局3.0400で越週した。

3. 今週のチャート&ハイライト



ドル高レアル安トレンドがピークアウト

3月には米早期利上げ観測のほか、国内の財政調整懸念が強まったことを受け、レアルは3.3000まで下落した。市場ではレアルが続落するとの見方も強かったが、4月に入ってからレアルは国内外の良好なニュースや指標に大きく反応し、今週に入ってレアルは3.000を6週間振りに上抜けた。今後の米経済指標や国内の財政改革が引き続き鍵となるが、レアルの傾向は少なくとも一時的に一転している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



4.来週の為替市場注目点

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

予想ドル・レアル相場レンジ：2.90－3.20

今週は米経済指標の大半が予想を下回った結果、米早期利上げ懸念が後退し、レアルは大きく反発した。更に市場ではレヴィ伯財務相の財政調整に対する期待感が高く、レアルをサポートしている。来週はブラジルで祝日を迎えるほか、主要経済指標の発表も少ない中、週初めは動意に乏しい展開となろう。しかし株式市場ではペトロブラスの監査済み決算が4月22日に発表される予定であることから結果次第でボベスパ指数だけではなく、レアル相場にも影響を及ぼす可能性がある。良好な結果となればレアル相場は3.0000を突破して再び2.90台で推移することも十分ありうると予想する。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.78%	0.88%	0.68%
ブラジル	IGP-M Inflation 2nd Preview	1.10%	1.16%	0.84%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	1.02%	1.07%	1.24%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	8.17%	8.22%	7.90%
米国	消費者物価指数(前月比)	0.3%	0.2%	0.2%
米国	シガン大学消費者マインド	94.0	95.9	93.0
米国	先行指数	0.3%	0.2%	0.1%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	4/20	貿易収支(週次)	Apr 19	--	\$132M
ブラジル	4/20	登録雇用創出合計	Mar	-20000	-2415
ブラジル	4/20	税收	Mar	96499M	89982M
米国	4/20	シカゴ連銀全米活動指数	Mar	0.10	-0.11
ブラジル	4/22	経常収支	Mar	-\$4800M	-\$6879M
ブラジル	4/22	海外直接投資	Mar	\$3700M	\$2769M
米国	4/22	MBA住宅ローン申請指数	Apr 17	--	-2.3%
米国	4/22	FHFA住宅価格指数(前月比)	Feb	0.6%	0.3%
米国	4/22	中古住宅販売件数	Mar	5.03M	4.88M
ブラジル	4/23	FGV CPI IPC-S	Apr 22	0.75%	0.93%
ブラジル	4/23	CNI産業信頼感	Apr	--	37.5
米国	4/23	新規失業保険申請件数	Apr 18	290K	294K
ブラジル	4/24	個人ローンのデフォルト率	Mar	--	5.4%
ブラジル	4/24	融資残高	Mar	--	3026B
ブラジル	4/24	ローン残高(前月比)	Mar	--	0.5%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。